

川湯温泉再生に向けて

廃屋撤去跡地開発のための協定締結報告会を開催



星野リゾート、環境省、弟子屈町の記者会見の様子

環境省、町、星野リゾート（星野佳路代表）による「阿寒摩周国立公園川湯温泉廃屋撤去跡地における宿舎事業」実施のために締結した協定の報告会が4月7日、川湯ふるさと館で開催されました。

この協定は、阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトの一環として、環境省が廃屋撤去跡地活用のために公募した事業で、星野リゾートが宿泊事業を実施。3者が協力して事業を実施するための協定を2月13日に締結し、今回はその報告が行われました。

報告会で星野代表は「川湯温泉再生のための役割を皆さんといっしょにやっていきたい」と話し、徳永町長からは「川湯再生は始まったばかり。環境省、星野代表と協力し、しっかりと取り組みたい」と話しました。

報告会終了後には、星野代表による特別講演も行われ、100人以上の参加者が熱心に聞いていました。



町の話題

CloseUp Topics



最優秀賞受賞報告の様子

JA青年の主張で最優秀賞を受賞!

釧路管内で初の栄冠

この日は、町役場を訪れ、徳永哲雄町長に受賞報告を行いました。牧之瀬さんは、「いろいろな方から祝福されとてもうれしい。新規就農をもっと魅力的にみせることができれば、農業者も増えて地方創生に繋がります。」と話していました。

この日は、町役場を訪れ、徳永哲雄町長に受賞報告を行いました。牧之瀬さんは、「いろいろな方から祝福されとてもうれしい。新規就農をもっと魅力的にみせることができれば、農業者も増えて地方創生に繋がります。」と話していました。

令和5年2月21〜22日に千葉県で開催された第69回JA全国青年大会の青年の主張で、北海道代表として出場したJA摩周湖青年部の牧之瀬佳貴さんが最優秀賞を受賞しました。

釧路管内では初めての全国大会出場で、初の栄冠を手に入れました。

発表は、自身が新規就農で酪農を始めてから6年、「新規就農は地方創生の一角を担う」と確信。海外での仕事の経験から乳製品の輸出も計画するなど将来の幅を広げていることを10分間で説明しました。また、発表途中で、得意の英語と中国語を使用して会場を驚かせていました。



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

482-2913 (課直通)

3月4日

災害時の強い味方 最新型の救急車が導入されました。



運用開始式の様子

災害対応・高度救命用資器材を備えた救急車の運用開始式が3月4日、弟子屈消防署で行われました。救急車はJA共済連北海道から寄付

されたもので、老朽化が目立ち更新が急がれていた川湯支署に配備されます。住民の安心・安全のため年間500件以上ある救急出動で活躍していきます。釧路北部消防事務組合長の徳永町長代理として出席した吉備津民夫副町長から「住民のみならず本町を訪れる多くのお客様にも安心してもらうことができる」と話していました。

3月15日

全国コンクールで入賞 全日本年賀状大賞コンクールで第小児童が快挙



賞状を受け取った岡林さん

3月15日、弟子屈小学校2年生の岡林瑞希さんが、日本郵便局主催の第20回全日本年賀状大賞コンクール絵手紙部門の佳作に入賞し、同小学校で賞状授与式が開催されました。小学生1〜3年の部には全国から14,370点の作品が応募され、北海道では岡林さんを含めて3人が入賞しました。

岡林さんは「賞状をもらったのは初めてで、すごくうれしい。」と喜んでいました。

4月14日

観光客の安全と客足の回復を祈願 観光協会が摩周湖安全祈願祭を開催



安全と客足の回復を祈願

(一社)摩周湖観光協会(渡辺隆幸会長)では4月14日、摩周湖カムイテラスにて安全祈願祭を行いました。

祈願祭は昨年11月から冬季間通行止めとなっていた、道道屈斜路摩周湖畔線の摩周湖第1展望台から川湯までのルートが同日から開通することに合わせて行ったもので、徳永町長や近江屋町議会議長など関係者約20人が出席。観光客の安全と本町に多くの観光客が訪れることを祈願しました。

3月15日

将来設計を学ぶ 弟子屈高校で金融授業



金融授業の様子

弟子屈高校(加藤誠校長)で3月15日に「金融授業」が行われました。

この授業は、2020年4月から成年年齢の引き下げにより、18歳からクレジットカードを作るなど金融に関するさまざまな契約を自ら行えるようになるなど、2022年4月から高校学習指導要領改訂で、金融経済教育の内容が拡充されたことに伴い行われました。弟子屈高校では1、2年生を対象に郵便局・ゆうちょ銀行の職員による「お金の大切さ」「お金の付き合い方について」の授業となりました。

学生からは「授業で学んだことを将来設計に生かしていきたい」との声が聞かれました。

4月6日

人材育成を応援 ふるさと人材育成事業成果報告会



成果発表する石川さんと板垣さん

ふるさと人材育成事業成果報告会が4月6日、町役場で開催されました。

ふるさと人材育成事業は、町民の皆さんを対象に資格や技術の取得、研修参加などへの助成を行うものです。この日は、令和4年度に同事業を活用してちびっこ探検学校ヨロノ島に参加した石川彩葉さん(美留和小学校6年生)と板垣虹花さん(美留和小学校4年生)の2人が岩原勝行教育長らに成果報告を行いました。

報告では、感想文の中で、手作りしたイカダに乗ったことや、外国人の友達との交流など、思い出を発表しました。参加者の保護者は、「普段の生活とは違う貴重な体験を通して、願つきも一回りたくましくなって帰ってきた」と話していました。